

平成 28 年 2 月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美



『日本/UAE 高温ガス炉研究協力技術フォーラム』 開催のご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

地球温暖化の影響が顕在するなか、原子力に対する期待が世界的に高まってきています。しかし、原子力エネルギー(Nuclear Energy)を電気に変換するという現在の方式だけでは、原子力本来の特性を活かしたことはありません。

本連盟は、発電だけでなく熱、水素、蒸気等の幅広い利用が可能で、産業などの低炭素化に貢献できる先進的な高温ガス炉(HTGR)である Very High Temperature Gas Cooled Reactor(VHTR)の普及が不可欠だと確信しています。

VHTR は、分散型エネルギーシステム(distributed energy system)として電気や熱を都市に供給できるだけでなく、石油化学コンビナート向けに電気や熱、蒸気を供給することもできます。また、海水淡水化の有力な エネルギー供給手段となるだけでなく、VHTR の高温熱を利用して水素を製造し、燃料電池自動車や定置型燃料電池にも利用することができます。

この度、本連盟では日本国内での最近の進展を踏まえ、日本の HTGR 技術は世界の最先端にあり、貴国のみならず中東地域の発展に大きく貢献する事を目的として、表題技術フォーラムをアラブ首長国連邦 シャルジャ大学にて開催致します。

つきましては、海外事業関連の企業様に、本技術フォーラムにおいて、貴社製品・技術のご発表、又はオブザーバーとしてご参加賜りますようお願い申し上げます。

また、現地や海外駐在員の方のご参加なども可能でございますので、詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

ご参加頂ける場合は別紙申込書に必要事項をご記入の上、**2016 年 2 月 10 日(水)**までに下記、一般社団法人日本技術者連盟あてFAX(03-6229-1940)又はE-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

※尚、貴社の稟議の都合上、締切日を過ぎる場合等は事務局までお問い合わせ下さい。

敬具

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

URL : <http://www.jef-site.or.jp> <http://www.jef-site.or.jp/npgef/>

<http://www.wkx21c.org>

日本・UAE高温ガス炉研究協力技術フォーラム

-Japan and UAE Joint Forum on Multipurpose High Temperature Gas-cooled Reactor- —高温ガス炉 (HTGR) を中心として—

1. テーマ : 『日本・UAE 高温ガス炉研究協力技術フォーラム』
-Japan and UAE Joint Forum on
Multipurpose High Temperature Gas-cooled Reactor-

2. 日本側主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (JEF)

3. UAE 側協力団体 : University of Sharjah (UAE)

4. 調査期間及び開催場所:

2016年2月26日(金)～3月1日(火) 5日間

【会場】2016年2月28日(日) アラブ首長国連邦 Sharjah 大学

【現地視察】2016年2月29日(月)

5. 後援(日本側) :

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

一般財団法人エネルギー総合工学研究所

6. 趣旨:

本連盟では、2014年4月アブダビにおいて「第1次 Japan and UAE Joint Forum on Nuclear Power Generation (Light Water Reactor and High Temperature Gas-cooled Reactor)」を開催致し、多大な関心を頂くことが出来ました。

地球温暖化の影響が顕在するなか、原子力に対する期待が世界的に高まってきています。しかし、原子力エネルギー (Nuclear Energy) を電気に変換するという現在の方式だけでは、原子力本来の特性を活かしたことはなりません。

本連盟は、発電だけでなく熱、水素、蒸気等の幅広い利用が可能で、産業などの低炭素化に貢献できる先進的な高温ガス炉 (HTGR) である Very High Temperature Gas Cooled Reactor (VHTR) の普及が不可欠だと確信しています。

VHTR は、分散型エネルギーシステム (distributed energy system) として電気や熱を都市に供給できるだけでなく、石油化学コンビナート向けに電気や熱、蒸気を供給することもできます。また、海水淡水化の有力なエネルギー供給手段となるだけでなく、VHTR の高温熱を利用して水素を製造し、燃料電池自動車や定置型燃料電池にも利用することができます。

日本では、VHTR のこうした利点に注目し、2014年4月に閣議決定された「エネルギー基本計画」に HTGR の技術開発が盛り込まれるなど、HTGR に対する関心が高まってきています。

この度、本連盟では、日本国内での最近の進展を踏まえ、2016年2月28日、ドバイにおいて「日本・UAE 高温ガス炉研究協力技術フォーラム-Japan and UAE Joint Forum on multipurpose High Temperature Gas-cooled Reactor-」を開催致します。日本の HTGR 技術は世界の最先端にあり、貴国のみならず中東地域の発展に大きく貢献するものと確信しています。

7. 開催目的:

一般社団法人日本技術者連盟(JEF)が主催し、現地政府機関の協賛を得て開催される技術フォーラムは、いわゆる“インフラ商談誘導型フォーラム”です。その目的は、“インフラ受注”なのではないかと考えてしまう企業の皆様もおられますがこれは間違いです。

技術フォーラム開催の目的はあくまでも“インフラ商談の機会を提供すること”にあります。フォーラム当日の受注狙いで技術フォーラムを開催致しますと、どうしても発表者の皆様の売り込みが強くなり、現地参加者の皆様がさめてしまいます。(もちろん、技術フォーラムの最終目的は“インフラ受注にある”事は間違いありません。)

技術フォーラム会場では、“この企業に相談してみたい”、“一度話を個別に聞いてみたい”などと感じてもらえる様、ワクワクさせる事が大切です。その場で即決を目指す難易度の高い技術フォーラムを開催するのではなく、一つひとつのプロセスをあげていく様な技術フォーラムを目指しています。

そのために、主催者である JEF では、昼食会、午前・午後のコーヒープレイクタイムさらに技術フォーラムアジェンダの最後の時間に設定される“Round Table Meeting”のアレンジを大変重要視致しております。

8. 団 長 : 岡本 孝司 氏

東京大学大学院工学系研究科 原子力専攻 専攻長・教授 Ph. D.



■略歴

1983年3月	東京大学工学部原子力工学科卒業
1985年3月	東京大学大学院工学系研究科 原子力工学専門課程修士課程修了
1985年4月	三菱重工業(株)入社 神戸造船所勤務
1988年6月	東京大学工学部助手
1992年2月	工学博士(東京大学)
1993年2月	東京大学工学部助教授
1994年3月~12月	テキサスA&M大学客員助教授
2004年4月	東京大学大学院工学系研究科教授
2004年10月~3月	九州大学客員教授
2005年4月	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

9. UAE 側オーガナイザー:



Walid A. Metwally, Ph.D., MBA

Associate Professor

Coordinator of Nuclear Engineering Program

College of Engineering

University of Sharjah

Sharjah 大学 概要

シャルジャ大学は、中東、ガルフ地域の先進的学術機関です。大学の提供するプログラムは、芸術、人間社会科学、医療健康科学、原子力工学、工学及び応用科学、商業、通信、法学とイスラム教及び微細芸術などを含み、多くの学生を擁しています。素晴らしいキャンパスと世界レベルの施設に恵まれて、大学は、高いレベルの教育と学生が卓越した経験を得ることに重点を置いています。世界に通用する方針と学生及び修士レベルの総合的な学術と研究プログラムによって、UAE、湾岸諸国、ならびに世界の多くの国からの意欲ある学生にとって魅力あるものとなっています。

大学は、有名なシャルジャ大学都市にあり、年間を通じて、教授及び学生は、学術活動とシャルジャと UAE の文化的環境に恵まれて活動しています。

The University of Sharjah (UOS or Sharjah University) はアラブ首長国連邦のシャルジャ市に president and chairman, the ruler of Sharjah HH Sheikh Dr. Sultan bin Mohamed Al-Qasimi によって 1997 年創立されました。大学の目標は、中東と世界において先導的な学術機関になることである。シャルジャ市の主キャンパスに加えて、首長国連邦を通じて、いくつかの社会に直結する教育訓練プログラムを提供するための施設も提供しています。大切なことは、大学は、シャルジャ首長国の社会経済の発展にとって重要な役割を果たしていることです。

10. 発表テーマ(案):(日本側)

1. 東京電力福島第一原子力発電所事故現状;
事故からの教訓 今後の日本原子力の現状
2. 高温ガス炉共同建設プロジェクト
 - ・なぜ今高温ガス炉か
 - ・高温ガス炉の技術的特徴と固有安全性
 - ・日本の高温ガス炉技術の現状:HTTR の建設・運転経験
 - ・ガスタービン超高温ガス炉
 - ・高温ガス炉と高温熱の多目的利用
(水素製造、海水淡水化、石油化学工業利用等)
 - ・高温ガス炉用先進燃料の製造
 - ・高温ガス炉用高純度黒鉛材料製造
 - ・中東地域における高温ガス炉導入の可能性と
日本からの提案(実証炉の共同建設、原子力技術者
教育・人材育成支援を含む)
 - ・炭素技術開発
 - ・免震技術
3. 日本の原子力発電所における経年劣化管理
4. 原子力発電所の耐震性評価
5. 原子力級溶接材料
6. 原子力発電所の先進的建設工法
7. 原子力発電所の保全の取り組み
8. 原子力発電所のデジタル計装制御
9. その他ポンプ、バルブなどの機器に関する
技術発表

(UAE 側) The University of Sharjah(UAE)より発表

11. 現地側参加者:(予定)

Federal Authority for Nuclear Regulation (FANR)

Emirates Nuclear Energy Corporation (ENEC)

Abu Dhabi Polytechnic

Khalifa University

American University in Sharjah

UAEU university 等、UAE 政府関係機関及び大学・企業から 約 100 名(予定)

12. 発表言語:英語

13. 募集人員:15名 (スピーカー及びオブザーバー含む)

14. 参加費用:¥870,000-(税込)・・・日本から全行程参加される場合

¥670,000-(税込)・・・現地から参加される場合(ただし、フォーラムのみ参加)

詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

15. 技術論文作成について:

- ①参加者のテキストの使用言語及び発表言語は英語とします。
- ②発表時間は 30 分前後とします。
- ③発表される技術論文のアブストラクトを A4 サイズ 1 ページにまとめて頂き、
2016 年 2 月 10 日(水)までに総合事務局宛、PDF ファイルでお送り下さい。
- ④テキストとして製本される技術論文は 2016 年 2 月 10 日(水)までに
JEF総合事務局宛にお送り下さい。
- ⑤フォーラムにて使用されるスライドは各自ご持参して頂くと共に、事前に
総合事務局まで PDF ファイルでお送り下さい。
(発表会場にはプロジェクター・スクリーン等準備しています)
- ⑥質疑応答は日本語・英語の逐次通訳となります。

16. 通訳者:ベテラン適任者

17. ホテル:一人部屋

18. 旅行主催:万達旅運株式会社ワンダートラベル

19. 総合事務局:株式会社アジア技術移転機構

20. 申込方法:添付申込書に必要事項記入の上、2016 年 2 月 10 日(水)までに FAX (03-6229-1940)
又は E-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

21. 代金支払:総合事務局 株式会社アジア技術移転機構 より請求書をご送付申し上げます。
※尚、貴社の稟議の都合上、締切日を過ぎる場合等は事務局までお問い合わせ下さい。



一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 井戸田 勲
〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル 5F
T E L: +81-3-6229-1946 FAX: +81-3-6229-1940
E-mail: jdota@jef-site.or.jp URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/> URL: <http://www.wkx21x.org>

『日本・UAE高温ガス炉研究協力技術フォーラム』

日 程 表 2016年2月26日(金)～3月1日(火) 5日間

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更の場合もございます。
 予めご了承下さい。

※飛行機はエコノミークラスを利用します。

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	2/26 (金)			22:30	羽田空港国際線出発ロビー集合	
2	2/27 (土)	羽田発	EK-313	0:30	エミレーツ航空にて出発 (日本との時差5時間/フライトタイム11時間50分)	昼 local 夕 hotel
		ドバイ着		7:20		
		ドバイ滞在	専用バス・ガイド	午前	ドバイ市内視察	
				14:00	ホテルチェックイン/休憩及びフォーラム準備	
					ドバイ泊	
3	2/28 (日)	ドバイ滞在		終日	フォーラム開催 (9:00 ~17:00) 於:(ドバイUniversity of Sharjah)	朝 hotel 昼 会場 夕 hotel
					ドバイ泊	
4	2/29 (月)	ドバイ滞在	専用バス・ガイド	終日	関連省庁訪問 及び 現場視察	朝 hotel 昼 local 夕 local
					ドバイ泊	
5	3/01 (火)	ドバイ発 成田着	EK-318	2:55 17:20	エミレーツ航空にて帰国の途へ (日本との時差5時間/フライトタイム9時間25分)	機内食

フォーラム会場(ドバイ)

開催日	会場名	住所・TEL
2/28(日)	University of Sharjah	P.O.Box 27272 Sharjah United Arab Emirates

宿泊ホテル(ドバイ)

宿泊期間	ホテル名	住所・TEL
2/27-3/1 (3泊)	CENTRO SHARJAH HOTEL	Al Dhaid Road Near Sharjah International Airport Sharjah TEL: 971 6 5088000

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 団長、事務局、添乗員同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- ・ 『日本・UAE高温ガス炉研究協力技術フォーラム』開催会場費、設営諸費用
- ・ 打合せ会/現地配布資料代他
- ・ 現地事前打合せ出張諸費用

III) 企画・運営費

- ・ 企画運営費

その他

- ・ 参加費は、2015年11月24日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したもので、ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合もありますので予めご了承下さい。
- ・ 尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意ください。

参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

- ◎ 旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで : 費用の50%
- ・ 実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。
- ◎ 運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	唐津 一	東海大学 名誉教授
	内藤 香	公益財団法人核物質管理センター 前理事長 原子力規制委員会 核セキュリティに関する検討会 委員
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph. D.
	森 和義	有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
	佐藤 正文	一般社団法人日・タイ経済協力協会 相談役
監事	寺村 康佑	株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木宜彦	前一般財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆	前一般財団法人経済産業調査会 理事長
	荒井 利治	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長
	宅間 正夫	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎	一般財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学)
	小川 順子	東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長
	金氏 顯	前一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事
	河原 暉	元一般社団法人日本原子力学会 会長
	佐川 涉	前一般社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士
	関村 直人	東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士
	津山 雅樹	一般社団法人日本電機工業会 原子力部長
	尾野 昌之	電気事業連合会 原子力部長
	新田 隆司	元 日本原子力発電株式会社 常務取締役
	藤井 靖彦	東京工業大学名誉教授 工学博士
	宮野 廣	特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授
	諸葛 宗男	前 東京大学公共政策大学院 特任教授

『アフリカ・中東技術者フォーラム』委員会

委員長	森 和義	一般社団法人 日本技術者連盟 理事 技術士(電気電子部門、経営工学部門)
委員	畑尾 成道	技術士(建設部門、総合技術監理部門)
	坂倉 省吾	財団法人海外技術者研修協会 理事 工学博士
	島 直	ICTコンサルタント・前GBDe消費者信頼委員会 筆頭シェルバ
	佐藤 正文	前 財団法人 海外技術者研修協会 理事 社団法人 日・タイ経済協力協会 専務理事
	小泉 英雄	技術士(電気電子部門)
	鄭 紹良	台湾總統府 科学技術諮問委員会 委員 台湾總統府 顧問 国家実験研究院 ボードディレクター 無任所大使、工学博士・PE
	井戸田 勲	一般社団法人 日本技術者連盟 専務理事
	海外委員	AOTS各国同窓会メンバーよりご依頼中・順不同
	アジア地区	Himpunan Alumni AOTS Indonesia Persatuan Alumni AOTS Malaysia AOTS Vietnam Alumni Society (AVAS) ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)
	中東地区	Association of Iran's Japan Alumni (AIJA)
アフリカ地区	AOTS Alumni Society, Cameroun (AOTSA-CAMEROUN) AOTS Alumni Society, Egypt AOTS Alumni Association - Ghana AOTS Alumni Society of Tanzania The AOTS Alumni Society of South Africa	

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950

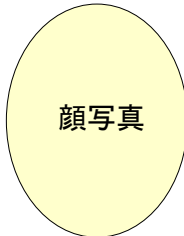
お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又はE-mail: gyomu1@ief-site.or.jpでお送り下さい。

『日本・UAE高温ガス炉研究協力技術フォーラム』 参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行 FAX 03-6229-1940

※該当欄にチェックして下さい

- 技術論文を発表する 発表テーマ()
- 技術論文を発表しないがフォーラムに参加する

フリガナ				 <p>メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください</p> <p>●4cm×3cm ●脱帽・正面・背景無地 ●パスポート顔写真の スキャンコピーでも可</p>		
会社名・団体名						
英文名						
所属名/役職名						
フリガナ		生年月日	西暦	年	月	日
参加者氏名						
パスポート記載名 (ローマ字)				学位		
E-mail				携帯電話番号		
勤務先	ご住所	〒				
	電話番号			FAX番号		
ご自宅	ご住所	〒				
	電話番号					
フリガナ						
担当責任者名				印		
所属名/役職名						
電話番号/E-mail						
旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)						
① はい <input type="checkbox"/> 旅券番号: _____ 有効期限: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日						
② いいえ <input type="checkbox"/> 現在申請中 <input type="checkbox"/> 旅券の作成代行を依頼する。(有料) <input type="checkbox"/> 自分で申請・取得する						
喫煙の習慣	有・無			マイレージをお持ちの方は番号を記載して下さい		
通信欄 (ご質問・ご希望等お書き下さい)						

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL: 03-6229-1950 FAX: 03-6229-1940

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル

TEL: 03-5157-2207 FAX: 03-5157-2208